

市議会だより さつて



桜・菜の花満開の権現堂公園 

3月定例会のおもなことから

- ・令和4年度当初予算等 2～4ページ
- ・各常任委員会での審査 5～7ページ
- ・市政に対する一般質問等 8～15ページ
- ・議決結果の一覧、編集後記 16ページ

No.102
2022年
5月

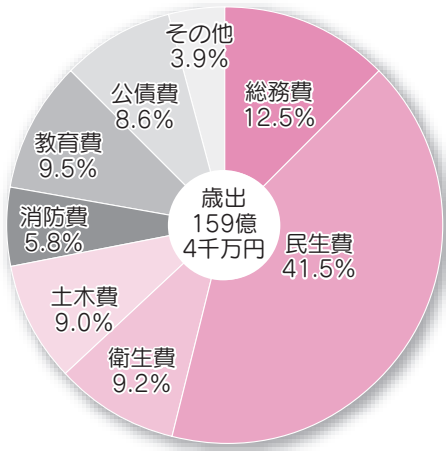
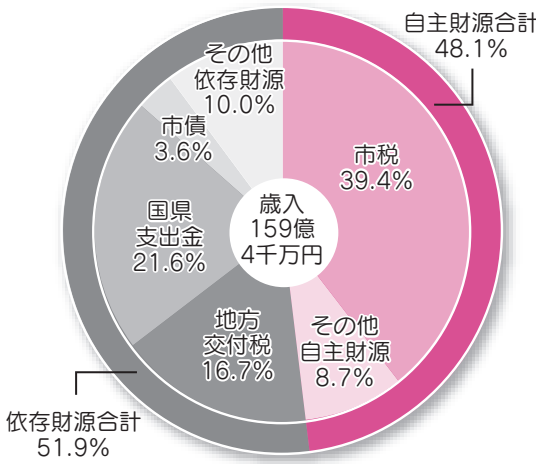
令和4年度 一般会計予算成立

一般会計 **159億4,000万円** (前年度比 3.4%増)

歳出

主な事業は、子育て世帯の支援、児童・生徒に対する学習支援ソフトの導入、若年層の市内への移住・定住の促進、公共施設のWi-Fi環境の整備、雨水流域貯留施設の設計、駅東口公衆トイレの建設など。

一般会計



歳入

歳入総額は前年度比**5億3000万円(3.4%)増**
市税は前年度比0.3%減の62億8302万5千円

令和4年3月定例会

令和4年3月定例会は2月18日から3月18日までの29日間の会期で開かれました。今定例会では、条例改正案8件、3年度補正予算案4件、4年度当初予算案8件、補正予算案1件、事務組合の規約変更1件、諮問案件2件、議員提出による規則改正案1件、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に抗議する決议案1件が提出され、いずれも原案のとおり可決・同意しました。一般質問では、14人の議員が市政をただしました。

歳出性質別 (単位:千円)

区分	令和4年度	
	予算額	小計(割合)
義務的経費	3,137,174	8,399,746 (52.7%)
人扶助費	3,886,299	
公債費	1,376,273	
投資的経費	525,688	(3.3%)
その他経費	普通建設事業費	2,872,145
	物件費	84,444
	維持補修費	2,055,459
	補助費等	1,836,102
	繰出金	104,915
	積立金	31,501
貸付金	30,000	
予備費		
合計	15,940,000	

※繰出金とは一般会計から各特別会計等に繰出す支出

特別会計 (単位:千円)

会計名	予算額
国民健康保険特別会計	5,927,542
後期高齢者医療特別会計	806,679
介護保険特別会計	4,308,814
農業集落排水事業特別会計	36,159
幸手駅西口土地区画整理事業特別会計	288,281
合計	11,367,475

(水道事業および公共下水道事業を除く)

令和4年3月定例議会
本会議議案質疑内容

(議案第10号)
令和3年度幸手市一般会計
補正予算(第9号)

質疑

コロナ関係の令和3年度補正予算の内訳について伺います。

答弁

報酬83万6千円、需用費880万5千円、役員費2766万7千円、委託料5億6750万7千円、使用料及び賃貸料2785万6千円、備品購入費150万円、このほか人件費・会計年度任用職員の報酬等5617万3千円です。



▲接種会場

(議案第14号)
令和4年度幸手市一般会計
予算

質疑

雨水流域貯留施設整備設計業務委託料817万4千円について、貯留施設の場所及び役割を伺います。

答弁

場所は日本保健医療大学幸手北キャンパスの校庭です。大雨時に河川に一気に流れ込む水を一時的に貯留、浸透させるもので、流域内の浸水被害を軽減するために効果的な施設となります。

質疑

しあわせ家族ウエルカム補助金300万円の目的や給付条件、注目を集めるための仕掛け方法を伺います。

答弁

若年層の定住を促進し、活力あるまちづくりを進めるため、若者夫婦世帯の市内への移住・定住を図ることが目的です。補助金の交付条件は、令和4年4

月1日以降の契約に基づく新築または売買により取得した住宅であること、居住面積75㎡以上であること、交付対象者及びその配偶者、この二方とも継続して1年以上市外に居住し、初めて住宅取得に伴い当市に転入していること、転入してくることを条件としています。

質疑

令和4年度地方財政計画によりますと、地域社会のデジタル化の推進と公共施設の脱炭素化の取組等の推進があげられています。本市の取組について伺います。

答弁

地域社会のデジタル化の推進については、公衆無線LAN環境整備やウェブ版水害ハザードマップの運用、ICT教育専門員の配置等に係る予算を計上しました。

脱炭素化の取組については、電気自動車急速充電器の更新、環境に配慮した公用車2台分の購入、防犯灯・道路照明灯のLED化改修、生ごみ処理容器等助成金・住宅用太陽光発電システム設置費の補助・稲わら焼却対策事業補助金を計上しました。

賛成討論

四本 奈緒美議員

幸手市地域防災計画の改定は、女性の視点・意見を活かした「誰一人取り残さない」SDGsの理念に沿う策定を期待する。公共施設への無線LAN設置は、防災体制の整備と共にデジタル化の推進にも寄与する。公明党はこれらをもって賛成とする。

坂本 達夫議員

この予算には、就学前の子供を養育する世帯に幸手産米を支援する事業、タブレットで学習する児童・生徒に学習支援ソフトを導入する事業、若者夫婦世帯が転入し、住宅を取得する際の費用を補助する事業がある。若い人、若い世帯を援助しており、評価する。

武藤 寿男議員

依然として厳しい財政状況が続きます。財源確保を図りながら職員の皆様には公務員としての責任と市民の皆様には奉仕する誇りを持って、英知を結集し創意と工夫をされ、可能な限り市政を進展させていただきますよう、期待をもってお願い致します。

令和4年度 新規事業

ハッピー・スマイ(米)ル推進事業の経費	9,161千円	農業振興地域整備計画基礎調査の経費	8,932千円
実用英語検定団体検定料の補助	1,863千円	市道 1-1 号線道路舗装工事の経費	100,000千円
ICT教育専門員配置に係る経費	1,431千円	市道 2-13 号線道路舗装工事の経費	36,000千円
G I G A スクール用学習支援ソフトに係る経費	24,420千円	市道 2356 号線道路舗装工事の経費	23,500千円
産婦健診の経費	2,300千円	上船渡橋架換事業の負担金	31,129千円
電気自動車急速充電器更新の経費	3,500千円	雨水流域貯留施設整備設計業務委託の経費	8,174千円
環境に配慮した公用車購入の経費	9,374千円	第3ポンプ場ポンプ交換工事の経費	85,000千円
さくらねこ無料不妊手術事業啓発の経費	100千円	大中落流域水路設計業務委託の経費	4,000千円
Web版水害ハザードマップ運用の経費	510千円	都市計画基本図更新の経費	19,492千円
防災行政無線の整備の経費	5,563千円	LED公園灯整備工事の経費	5,550千円
公共施設への公衆無線LAN設置の経費	17,887千円	駅東口公衆トイレ建設工事の経費	40,000千円
庁舎建設基金への積立	100,000千円	総合振興計画後期基本計画策定に係る経費	6,251千円
		若者夫婦世帯への住宅取得費用の補助	3,000千円



▲ 就学前の子どものいる世帯に幸手産米が届きます



▲ 駅東口エレベーターわきにトイレが出来ます (イメージ)

「ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に抗議する決議」を全会一致により可決しました。

幸手市議会では、今回のロシア軍による攻撃やウクライナの主権侵害に抗議するとともに、世界の恒久平和の実現に向け、ロシア軍の即時の攻撃停止と、完全かつ無条件での撤退を強く求め「ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に抗議する決議」を全会一致で可決いたしました。

また、幸手市議会議員互助会から「ウクライナ人道危機救援金」として10万円を、日本赤十字社埼玉県支部へ寄付を行いました。

総務常任委員会

幸手市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
(議案第1号)

問 勤務環境の整備に関する措置の内容は。

答 育児休業に関する制度の周知や幸手市で職員向けに作成をした子育て応援ハンドブック等を活用して、育児休業を受け入れやすい職場環境づくりをしていく。



幸手市個人情報保護条例の一部を改正する条例
(議案第2号)

問 デジタル庁設置法、デジタル社会形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、市の条例にどのような影響があるのか。

答 個人情報に関係する3本の法律が一本化され、「個人情報の保護に関する法律」となる。

これに伴い、これまでの条例で規定されていた部分も一本化し、「個人情報の保護に関する法律」を新たに適用するもので、条例の運用については変更は無い。

令和4年度幸手市一般会計予算
(議案第14号)

問 個人市民税が減額した理由は。

答 減額した理由は大きくは3点あり、①幸手市の納税義務者の課税標準額の段階が、下方向に移行していること②年々、退職者の数が減ってきていること③ふるさと納税等の市税としては減収に作用する税額控除分が増となったことなどが、減額の要因となっている。

問 音声テキスト化システム使用料の内容は。

答 AIによる音声認識技術を活用して、会議内容を録音した音源データを自動的にテキスト化するもので、環境設定も含めて、音声テキスト化のシステムを利用するためのライセンス使用料である。

問 しあわせ家族ウエルカム補助金の内容は。

答 若年層の定住促進を図る観点から、40歳未満の若者夫婦が市内に転入して、市内において初めて住宅を取得する際における費用の一部を上限度額30万円補助するものである。



令和4年度幸手市一般会計補正予算
(議案第22号)

問 国の令和3年度の補正第1号

に伴う、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を中心とした財源が留保されている、その留保分の内容は。

答 国から、1億9926万1千円の内示額があり、このうちの1億5614万6千円を計上し、4311万5千円が残額となる。

問 預貯金等照会システム使用料の内容は。

答 現在、滞納者の預貯金調査は、27の金融機関に一斉調査を行っているが、調査方法は、郵送照会によるもので、これには金融機関からの回答に長期間を有し、残高に時的なずれが生じることや、金融機関の負担が非常に大きなものとなっている。今回、ピットリンクという、預貯金照会電子化サービスを利用して、データで照会・回答を得ることが可能となる。システム基本料は、年間12万円、照会料は定額制で、1か月4千円となる。

文教厚生常任委員会

幸手市国民健康保険税 条例の一部を改正する 条例 (議案第3号)

問 埼玉県内の国保税が統一された場合、保険税が上がることを想定される。一般会計からの法定外繰り入れを市はどう考えるか。

答 今回の改正は税率と課税額の限度額を引き上げる一方、未就学児に係る被保険者均等割を軽減する改正である。国保運営は非常に厳しい。当市では、前期高齢者数が多く県内でも医療費が高い水準にあるが、ここ数年、一般会計からの法定外繰り入れは実施せず、代わりに国保基金を取り崩して投入することで税率を低い値で収めてきた。しかし、基金の不足もあり今回の税率改正となった。県は国保税の統一に向け、現在法定外繰り入れをしている自治体に対して赤字解消のための計画作成を指導している。本市としても他の自治体の赤字解消の取り組みを注視し参考としていきたい。

令和3年度幸手市一般会計 補正予算 (第9号) (議案第10号)

問 交通安全対策費で予定する事業内容は。

答 区長要望等による路面標示、道路反射鏡、道路標識、防護柵の緊急修繕で、予算は繰越して令和4年度に実施する。

問 体育施設費の公園施設長寿命化工事3200万円の内容は。

答 幸手総合公園テニスコート6面のうち3面を改修する工事が2962万円、設置から30年を経過し老朽化した照明の埋設ケーブルを空中ケーブルに新設する工事が264万2200円である。



▲ 幸手総合公園テニスコート

令和4年度幸手市一般会計 予算 (議案第14号)

問 図書館の施設改修工事は。
答 本館1階及び2階の雨漏りを修繕するため、防水シートを張り替えるものである。

問 自治振興費のデマンド交通回数券払戻金とは。

答 今現在広報しているのは、令和4年3月31日までの回数券の払戻しだが、回収が進んでいない。払戻し日程は今後検討する。

問 新規事業「ハッピースマイル(米)ル推進事業」の内容とは。

答 未就学児(6歳になるまで)がいる世帯に対し、幸手産米を配布する。



今年度は年度途中からの開始で一人30キロ。令和5年度からは1人60キロを補助する。対象者は1400世帯、引換券発送等事業費は916万1千円を見込んでいます。

問 教育費の教育審議会委員報酬の内容は。

答 昨年8月、市長部局から、小・中学校の適正規模や通学区等を含め、今後の小・中学校のあり方についての検討が依頼された。教育委員会では、幸手市教育審議会に諮問を行い協議いたしたく、その報酬である。市内全体から委員20名を選定する予定である。

令和4年度幸手市国民健康 保険特別会計予算 (議案第15号)

問 被保険者の高齢化により、医療費が増えた結果、被保険者が負担する保険税も増えると認識しているが、医療費を抑制する有効な施策はあるか。

答 医療費の適正化を図るため、保険事業として、特定健康診査事業、生活習慣病重症化予防対策事業、健康マイレージ事業等を引き続き実施していく。



建設経済常任委員会

令和3年度幸手市一般会計
補正予算(第9号)
(議案第10号)

問 担い手確保・経営強化支援事業補助金657万8千円の事業内容は。

答 担い手の育成・確保の取組と、農地集積・集約化の取組を一体的かつ積極的に推進する地域において、担い手が農作物輸出の取組や将来の輸出取組に向けた低コスト化、品目転換、拡大の取組を行う場合に、その農業用機械、施設導入についての補助をする。

問 大堰橋周辺浸水対策検証業務委託料1千万円の内容は。

答 平成30年度に一度検証を行ったが、今回は第1・第5・第8ポンプ場の改築検討を行い、その他、大堰橋下流の天神島橋において、左岸にポンプ場を新設したときの検討。それから、調整池を設置したときの検討を行う。それぞれ

れの、検討結果を組み合わせた際の効果も検討し、その上で、概算事業費まで算出する。

令和4年度幸手市一般会計
予算
(議案第14号)

問 幸手中央地区産業団地企業誘致奨励金60万円の内容は。

答 今回、今年3月31日新たに1社操業する。その企業に対し、水道加入分担金の相当額60万円を計上した。

問 駅東口公衆トイレ建設工事4千万円の詳細内容は。

答 本工事建設にあたっては、多様なニーズに対応した質の高い適切なトイレを整備することが求められている。よって、耐久性を加味し、経費的には高額になるが、鉄筋コンクリート構造建設を一般競争入札にて考えている。建設用地は、東武鉄道と協議し、無償で

約85㎡を借用する。建築面積は33㎡程度となる。トイレの便器数は、男子用が小便器3基、大便器1基、手洗い器、女子用は、大便器3基、手洗い器、多目的トイレ(オストメイトトイレ)は、大便器1基、手洗い器となる。また、外観は駅舎及び自由道路に類似した仕様にし、令和5年2月頃を完成時期と考えている。

◆附帯決議案の提出

建設工事予算の執行に当たっては、工事の妥当性、合理性にも鑑み、さらなる事業内容の点検、精査の上、慎重かつ丁寧に執行されることを強く願うものである。この附帯決議案が提出された。

この附帯決議案のもと、討論を求めたところ、反対討論・賛成討論がされた。その後、附帯決議について採決を行ったところ、賛成多数にて、原案のとおり可決された。

令和4年度幸手市水道事業
会計予算
(議案第20号)

問 供給単価と給水原価が2年ほど逆ザヤであるが今年度も続くのか。

答 令和4年度についても、現在の予算では供給単価は144,432円、給水原価は154,322円、僅か1万円程度であるが、逆ザヤになっている。

令和4年度幸手市一般会計
補正予算
(議案第22号)

問 ハッピーエール応援券事業の配布予定日と対象者は。

答 商工会と打合せをしているが、本年10月頃配布予定である。しかし、緊急経済対策ということを踏まえた上で、今後の協議を進めていく。また、配布対象者については、令和2年度、令和3年度と同じように、全市民に1人2千円という形で配布させていただきたいと考えている。



▲ハッピーエール券
※イラストは令和3年度のものです

市政に対する

一般質問

今定例会では、14人の議員が2月21日、22日、24日に一般質問を行いました。質問の中から、主なものを質問者順に掲載します。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずぬもので、市側は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

坂本達夫議員

- 令和4年度当初予算と市長公約について
- 権現堂公園のサクラの世代交代について
- 電気自動車充電器について
- アスカル幸手(メインアリーナ・さくらホール)の危険な階段について
- ハッピーエール券の発送について

大平泰二議員

- 新型コロナウイルス感染症対策について
- 高齢者・障害者対策について

四本奈緒美議員

- がん対策について
- 防災対策について
- SDGs(持続可能な開発目標)の取り組みについて

本田謡子議員

- 避難所におけるトイレについて
- コロナ禍での市長の危機管理と行動について
- 幸手市のホームページについて

海老沼隆夫議員

- コロナ禍における市民の活動について
- 道路側溝の土砂の撤去・改善について
- 危険な県道について
- 市長の選挙公約の実現について

藤沼貢議員

- 人口減少問題について

小林英雄議員

- 幸手市公共施設個別施設計画について
- 成年年齢が18歳になることについて

松田雅代議員

- 幸手消防署建て替え計画への対応について
- 香日向汚水処理場の公共下水道接続までの維持管理、市の支援強化について

小河原浩和議員

- 市内循環バスの充実について
- 過密する放課後児童クラブについて市長に伺う

青木章議員

- 市街地火災について
- 新型コロナウイルスの現況と対応について
- 新型コロナウイルスの子どもへの対応について

小林啓子議員

- 幸手市におけるプラスチックごみについて
- 令和4年度幸手市文化祭について

枝久保喜八郎議員

- 組織と人事の今後の在り方及び人材育成について
- 水道の民営化について
- 公共施設の安心安全や快適さが人口問題に与える影響について
- 火災被災者への緊急対応について

木村治夫議員

- 農業振興地域整備計画変更事業について
- 防犯のまちづくり推進事業について

武藤壽男議員

- 幸手市の当面の行政課題と実施計画など、それらの取り組みと対応について

「議会報告会」に対して寄せられた意見要望等について

昨年度の「議会報告会」については、コロナ禍の影響により中止といたしました。市民の皆様から、市議会や市政に対して下記のとおり「ご意見・ご要望」が寄せられました。市からの回答と併せてお知らせいたします。市議会として引き続き皆様の声が市政に反映されるよう努めてまいります。

質問 幸手駅西口周辺に駐輪場を設置する予定はありますか

答 現在のところありません。(危機管理防災課・まちづくり事業課)

質問 「子育て世帯への臨時給付金」の所得制限を撤廃できませんか

答 国の要領に則り実施するため、撤廃の考えはありませんが、別の角度から更なる子育て支援の充実に努めます。(こども支援課)

要望 福祉施設に行く場合に、年齢制限を設け要支援・要介護認定者及び訪問・お見舞に行く方に対しタクシー割引制度を新設してほしいです

答 先進自治体の事例を参考にしながら、タクシー割引支援制度等も含め、総合的な施策について慎重に検討します。(介護福祉課)

市役所駐車場の電気自動車充電器について



坂本達夫議員

Q

電気自動車は、バッテリーに蓄えた電気力で走り、二酸化炭素や人体に有害な窒素酸化物を出しません。また、太陽光、風力などの再生可能エネルギーで発電した電気を使うことにより、電気自動車は一層環境にやさしい乗り物となる。

幸手市役所には、電気自動車

A

普及のため電気自動車充電器が設置されている。利用時間は、平日9時から16時までとなっておりが、平日だけでなく、土曜日、日曜日、祝日まで利用できるようにならないか伺う。

(総務部長)

幸手市のPRにつながるものと考えられる。については、利用機会の拡大の実施にあたってはいくつかの課題もあることから、今後、先進事例の情報収集を行うなど、効果的な利用方法等を検討していく。

障害者年金の手続きについて



太平泰二議員

Q

障害者年金の説明・取り扱いについて伺います。障害者基礎年金は市の窓口、障害者厚生年金について「年金事務所に行って手続き」と言われるが、障害者が春日部市や加須市に向いての手続きは大変です。書類作成など職員のサポート等、市の対応について伺います。

A

障害者年金は、年金事務所にてお手続きいただくこととなりますが、一部は国の法定受託事務として、市の窓口でもお取り扱いすることができま

(市民生活部長)

軽減できるよう配慮してまいります。



幸手市のSDGsの取り組みについて



四本奈緒美議員

Q 市政運営の基本となる第6次幸手市総合振興計画後期基本計画が3・4・5年度の3か年で策定される。幸手市公明党が「令和4年度予算編成並びに施策に関する要望書」で求めている「SDGsが掲げる課題への具体的取り組み」を活かした総合振興計画の策定を提案するが、市の所見を伺う。

庁舎各課の受付に、関係するSDGsのアイコンを表示して、市民に周知・啓発をしていくべきと考えるが、市の所見を伺う。

A 当市においては、「第2期幸手市まち・ひと・しごと創生総合戦略」等において、関連するSDGsの基本目標を表示している。「第6次幸手市総合振興計画後期基本計画」においてもSDGsの理念を反映させ、引き続き持続可能なま

ちづくりを推進していく。今後については、市の広報紙やホームページ、ポスターの掲示等、市民の皆様へ、さまざまな手法での周知・啓発に努めつつ、御提案の内容についても検討をしてまいります。



(総合政策部長)

避難所に必要な「トイレ」は大丈夫ですか



本田謡子議員

Q 阪神・淡路大震災では、仮設トイレの便槽が満杯になり、使用禁止があちこちに出ました。また、新潟県中越地震では、車中の避難生活者はトイレのために飲食の摂取を控え、その結果エコノミー症候群を引き起こすこともありました。そして東日本大震災では、汚水が流れないため水洗トイレ

が使えず、自宅でゴミ袋に排泄する期間が続きました。このように避難所環境整備に重要なトイレについて、現在における避難所開設時の詳細と問題点、及び今後早急に対応すべき課題を伺う。

A 避難所開設時に施設のトイレが使用できなければ、簡易トイレを設置します。

この場合は、避難者が気兼ねなく使用できるように配慮する

必要があります。また、使用済みの袋の処分も課題となります。今後も簡易トイレの備蓄を進めるとともに、避難所で適切にトイレの管理ができるよう、使用の手順をまとめたいと考えています。

(市民生活部長)





藤沼貢議員

人口減少問題について

Q 人口の減少を少しでも抑止するため、市民等民間を中心とした「対策協議会」（仮称）の設置の考えはあるか。又、駅西口開発においても、商業事業者や企業の進出を促すよう、市として積極的に動くと思うが市の考えを伺います。

A 人口減少問題を取り扱う「幸手市まち・ひと・しごと創生市民会議」を継続していくとともに、市民の皆様にご参加いただけるような場も設けつつ、御意見を拝聴してまいります。

幸手駅西口開発につきましては、用途地域の変更など、店舗等の立地誘導を図ってまいりました。

また、現在は、スーパーなどの事業者に出店を検討していた

だけのよう、情報提供を行い、西口の利便性向上や、にぎわい創出に努めているところです。

（総合政策部長・建設経済部長）



海老沼隆夫議員

国道4号芝原交差点手前危険な県道について

Q 県道惣新田幸手線、八字カーブ箇所両側の木立、又、国道4号バイパス芝原交差点手前、天神橋手前の県道の急カーブ地点は、外側線もセンターラインの白線も消え、夜間などはとても危険です。先の議会で、県に再度要望していくとの答弁を市から頂きましたが、市民の

命も守るためにもその後の進捗状況について伺います。

A 県道惣新田幸手線の危険な箇所については、12月市議会定例会で議員からのご質問を受け、道路管理者である埼玉県に改善要望をしております。今回、進捗を確認したところ、まず、八代郵便局先のS字カーブ箇所の木立につきましては、県から土地所有者に適切な樹木管理のお願いをしていると

伺っています。次に、天神橋手前の急カーブ地点については、県が4月以降速やかに外側線とセンターラインの引き直しを実施すると伺っています。

（建設経済部長）



危険な幸手市庁舎、耐震無対策は県内唯一



小林英雄議員

Q

昨年一二月に、総務省消防庁が発表した、市庁舎等耐震化状況の調査結果によると、埼玉県内（六三市町村）において、庁舎の耐震基準を満たしていない自治体は十一あった。調査は令和二年に行われており、現在は、庁舎完成4、着工し完成待ち4、計画設計中2、であり、唯一無対策なのは、幸

A

手市だけとなった。市民、職員
の安全確保を第一に、最短で建築できる内容や方法、既存の施設を活用した、組織、機能分散移転などを検討し、早急に進めるべきと考えるが見解を伺う。

市役所本庁舎は、多くの市民の方が来庁する施設であり、災害時には防災拠点となる施設でもある。そのため、強度不足、耐震性に欠けているということは、好ましい状

況ではないことは十分認識している。

庁舎建設に関しては、できる限りスピード感をもって事業を進めていきたいと考えている。

なお、これには多額の財源を要することから、令和4年度当初予算において、庁舎建設基金に1億円を積み立てることとした。

（総合政策部長）

幸手消防署建て替え計画への市の対応は



松田雅代議員

Q

埼玉東部消防組合は、同組合公共施設個別施設計画において、2029年度までに幸手消防署を含む3施設の建て替えを計画している。同組合はこれから関係市町と協議を始めるということだが、協議はいつ頃から始まるのか。建て替え協議、計画（時期・規模・移転・工事費など）に臨む市の考

A

えを伺う。

また、特に移転を伴う建て替えの必要性が生じる場合、市民への説明は欠かせない。市民への説明についての市の考えを伺う。

幸手消防署の建て替え計画は、現在、東部消防組合で策定中であり、幸手市に正式に示されるのは、4月以降と思われる。従って、協議の時期は決まっていない。計画に対して、組合側の考え方が示され

てから、幸手市の方針を検討したい。また、市民への説明時期についても未定である。

（市民生活部長）





青木章議員

二月二日発生の中三丁目地内住宅火災について

Q

幸手市中三丁目、幸手小学校北側の交差点付近で、爆発を伴う火災が発生しました。この火災の被害状況について伺います。当日7台の消防車が出動しましたが、現場により近い幸手消防署からは2台だけでした。遠くは白岡からも車両が出動し、この対応の遅れた原因のひとつは幸手西分署廃

A

この火災の被害状況につきましても、建物9棟、車両7台が焼損したことが確認できています。火災の当日に、現場には行っていません。



消火等の対応について、職員に指示はしていません。

(市長・市民生活部長)



小河原浩和議員

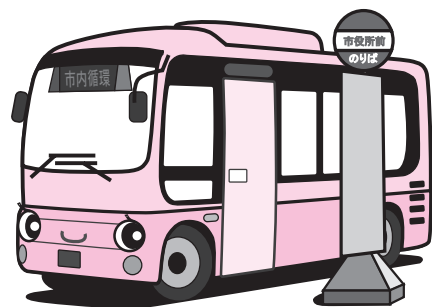
市内循環バスの充実・早期の検討や見直しを

Q

多くの市民から「一日の本数があまりにも少ない」「バス停とバス停の間隔が離れすぎている」などの意見が寄せられている。市長の政治姿勢として、スピード感を持った行政運営やPDCAサイクルを回すことを掲げているが、市民の声を反映した早期の市内循環バスの検討や見直しを望む。

A

これまでに、停留所の場所や目的地までの行き方、乗換方法などについて、問合せや意見が寄せられている。市としては、まずは市内循環バスの周知に努め、商業などの分野と連携を図ることで、利用を促進していきたい。次に、利用状況の把握や利用者の意見にしっかりと耳を傾け、その上で、しかるべき時期に利便性向上を図るための検討を行いたいと考えている。(市長)



幸手市におけるプラスチックごみは



小林啓子議員

Q

本年4月「プラスチック資源循環促進法」が施行されることになった。幸手市では、令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業として、プラスチック製容器包装運搬選別処理業務が行われてきた。令和3年度について、令和2年度と比較してどのような傾向にあるのかを

A

令和3年度のプラスチック製容器包装については、1月末の処理量が637,397tで、前年度1月末と比較して25,917t減少している。次に、幸手市の施設には、市

役所やウエルス幸手など計27か所の施設に、64台の自動販売機、及びリサイクルボックスが設置されており、回収過程でペットボトルに異物が混入している問題については、ごみ捨てマナーの向上が重要であるため、市として広報・啓発活動を進めていきたいと考えている。
(市民生活部長)

図書館本館のトイレ環境について



枝久保喜八郎議員

Q

図書館は静かで落ち着いた環境が維持され、読書や勉学を主体に向学にいそむ市民に親しまれ、それにより長時間滞在者が多くなります。本館では一階と二階のトイレのいずれも男女共に和洋一器ずつと少なく、洋式は暖房水洗ではありません。今の世代は洋式で育っており、寒い冬に冷たい便

A

図書館本館のトイレの一部は洋式化されており、暖房や温水洗浄便座などの機能は付いていない状態です。図書館のみならずトイレにつ

いては、暖房をはじめ機能面について、もっと快適にしてほしいとのご意見やご要望もありますので、今後、順次、改善に向けて検討してまいります。
(教育部長)



安全・安心な街幸手市の防犯体制強化を問う



木村治夫議員

Q

埼玉県では、平成17年、愛称公募によりわがまち防犯隊として県内5800団体が活動している。市においても55団体の皆様によって、防犯パトロール・子どもたちの見守り・犯罪抑止等市内の防犯活動を強力に行っている。問、刑法犯認知数の推移について、自主防犯団体活動状況と市管理防

犯灯の設置数、LEDへの切替状況について、市民への防犯に関する意識啓発、また自主防犯団体等に活動を強力に支援する（必要経費補助等）ための施策についてを問う。

A

幸手警察署管内の全刑法犯は、令和3年422件、2年464件、元年544件、平成30年678件である。市管理の防犯灯は令和2年度末で1815基であり、このうち

1371基はLEDへの切り替えが済んでいる。自主防犯団体の主な活動状況は、児童の登下校の見守り、防犯パトロール、危険個所の点検など防犯啓発と安全・安心な街づくりに大きな役割を果たしていただいている。団体への支援策については、所管する幸手地区防犯協会と協議していく。
(市民生活部長)

市の行政課題と今後の取組は



武藤壽男議員

Q

本市においては、市庁舎の建替え等公共施設の老朽化、207橋の修繕や架け替え、530kmに及ぶ水道と320km余の水路の維持管理、水道施設の耐震や水害対策、下水道区域の拡張計画などのインフラ施設の整備、また、令和18年度までの計画で関連事業を含む計画事業費約118億円余の

西口区画整理事業、桜泉園の使用済み排気塔の撤去など、行政課題は山積している。
次の世代に先送りしてはならない課題ばかりであるが、市の今後の対応を問う。

A

市では、行政課題を将来世代に先送りする意図はなく、各事業の必要性や緊急性、さらには、国・県補助金に加え、事業費を平準化するため

に地方債の活用等も勘案した上で、各事業の実施を決定している。
一方で積立基金残高の減少傾向が続くなど、厳しい財政状況であるが、事業の「選択と集中」を徹底するとともに、各種使用料等についても受益者負担の原則に立った「見直し」を含め、限られた財源を最大限に有効活用していきたい。
(総合政策部長)

令和4年3月定例会 提出された議案の結果

公明党…公 幸手市政クラブ…幸 自民党市議団…自 新政会…政 新緑…緑 日本共産党…共 (○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席)
(幸手市長提出議案)

議案番号	議案名	議席番号・議員名															付託委員会	議決結果
		1 四本奈緒美	2 坂本達夫	3 海老沼隆夫	4 小林英雄	5 枝久保善八郎	6 宮杉勝男	7 本田謡子	8 小河原浩和	9 小林啓子	10 松田雅代	11 木村治夫	12 藤沼貢	13 青木章緑	14 武藤壽男	15 大平泰二		
議案第1号	幸手市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務	賛成全員可決
議案第2号	幸手市個人情報保護条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務	賛成全員可決
議案第3号	幸手市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	文教厚生	賛成多数可決
議案第4号	幸手市子ども医療費支給に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第5号	幸手市入学準備金貸付条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第6号	幸手市市営住宅管理条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第7号	幸手市都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第8号	幸手市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第9号	埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務	賛成全員可決
議案第10号	令和3年度幸手市一般会計補正予算(第9号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務 文教厚生 建設経済	賛成全員可決
議案第11号	令和3年度幸手市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第12号	令和3年度幸手市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第13号	令和3年度幸手市介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第14号	令和4年度幸手市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務 文教厚生 建設経済	賛成全員可決
議案第15号	令和4年度幸手市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第16号	令和4年度幸手市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	文教厚生	賛成多数可決
議案第17号	令和4年度幸手市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第18号	令和4年度幸手市農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第19号	令和4年度幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	建設経済	賛成多数可決
議案第20号	令和4年度幸手市水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第21号	令和4年度幸手市公共下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第22号	令和4年度幸手市一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務 文教厚生 建設経済	賛成全員可決
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意

(議員提出議案)

会議案第1号	幸手市議会会議規則の一部を改正する規則	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員可決
決議案第1号	ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に抗議する決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員可決

議会インターネット中継のアクセス件数
インターネットを利用した議会中継(ライブ及び録画)を行っております。

1月	20件	2月	1,013件	3月	380件
----	-----	----	--------	----	------

の方が視聴されました。

6月定例会のお知らせ
6月1日開会予定です。
詳しくはホームページをご覧ください。
<https://www.city.satte.lg.jp/>

- それぞれの内容の詳細は会議録および市議会ホームページ(インターネット映像配信システム)でご覧になれます。
- 会議録は図書館、各公民館の図書コーナー、市役所の情報公開コーナー、または市議会ホームページで公開しています。
- 3月定例会の会議録は6月上旬頃公開予定です。

議会広報編集委員	委員	長	宮 杉 勝 男
	副委員	長	小 林 啓 子
	委員	員	四 本 奈 緒 美
	委員	員	坂 本 達 夫
	委員	員	海 老 沼 隆 夫
	委員	員	本 田 謡 子
	委員	員	小 河 原 浩 和
委員	員	松 田 雅 代	
委員	員	木 村 治 夫	

編集後記 幸手市は、日本五街道のひとつ「日光道中」日光街道・奥州街道、江戸・日本橋から数えて6番目、また、日光御成道の6番目の宿場町、歴史、文化、産業、自然豊かな街。五月晴れの中、肥沃な田畑に坂東太郎の清水が流れ、田植えが始まりました。ふるさと納税返礼品としても人気の幸手産のお米、市では、子育て支援の新たな取り組みとして、未就学児1人につき最大で年間60kgの玄米を配布します。若年層市民が1人でも増えますように願っています。